

# 北川で採集された イトモロコとタイリクバラタナゴ

加藤 文 男\*

福井県に分布する魚種として、イトモロコ *Squalidus gracilis* T. et S. の記録はこれまで全くみられない。またタイリクバラタナゴ *Rhodeus ocellatus ocellatus* (Kner) は、北瀉湖や九頭竜川では分布の記録があるが(加藤, 1978; 1980), 北川では今回が初めての記録である。そこで1979年に北川の下流域(福井県小浜市高塚町付近)で採集された上記2種の魚について報告する。

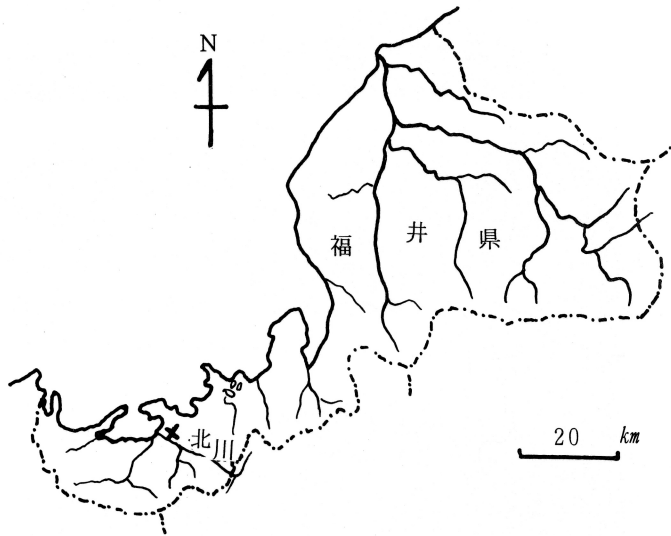


図1. イトモロコとタイリクバラタナゴの採集地(×印)

表1 魚の計測値

魚 種	イトモロコ		タイリクバラタナゴ	
	1	2	1	2
標本番号				
全長 (mm)	62.5	62.0	51.2	47.5
標準体長 (mm)	51.0	53.0	39.0	37.5
体長/頭長	3.64	4.08	4.33	4.26
体長/体高	4.43	4.24	2.47	2.50
頭長/吻長	3.78	3.25	4.50	3.83
頭長/眼径	3.11	2.60	2.57	2.75
頭長/眼間距離	2.55	2.24	2.25	2.38
背 鰭 条 数	Ⅲ, 7	Ⅲ, 7	Ⅲ, 12	Ⅲ, 12
臀 鰭 条 数	Ⅲ, 6	Ⅲ, 6	Ⅲ, 12	Ⅲ, 11
胸 鰭 条 数	15	15	11	11
腹 鰭 鱗 数	8	8	6	6
縦 列 鱗 数	35	33	33	32
横 列 鱗 数	4/3	4/3	10	10
鰓 耙 数	6	5	11	12
性			♂	♀
採集月日	1979. 9. 14	1979. 9. 14	1979. 8. 22	1979. 9. 14

\* 福井県立武生高等学校

## 1. イトモロコ *Squalidus gracilis*

### a. 特徴と分布

体は淡黄褐色で、側線鱗の後端には輝青褐色（ホルマリン漬標本では暗褐色）の斑点があり、全体として一縦条をなしている。背面に不鮮明な暗色斑がある（図2A）。肛門は臀鰭起点の直前よりもやや前方に離れて位置する。側線鱗は著しく側扁し、その中央部はくぼむ（図3）。口角には眼径に著しい1対の口ひげがある。魚の計測値を表1に示した。

天然の分布は木曾川水系、本州の瀬戸内側と江川以西の日本海側、香川、徳島両県、築後川を中心とする北九州から長崎県までで、川の中流域下部から下流域にかけて分布する（宮地ら、1976）。国外では朝鮮半島と中国大陸にも分布する（中村、1975）。

### b. 移殖と繁殖状況

小西一夫氏（遠敷郡名田庄村堂本在住）によると、北川でイトモロコが獲れたのは2、3年前からのことといわれる。福井県における自然の分布とは考えにくく、他の移殖魚に混入して放流されたものと思われる。どのような経路で移入されたかは今のところ不明である。稚魚も相当数採集されたことから、そこで繁殖しているものと思われる。

## 2. タイリクバラタナゴ *Rhodeus ocellatus ocellatus*

### a. 特徴と分布

体長/体高は2.47~2.50で他のタナゴ類に比べて著しく体高が高い（表1）。雄の婚姻色のうち、腹鰭の前縁は真珠光沢を示す。天然の分布はアジア大陸と台湾である（中村、1975）。福井県では北川で採集されたことにより、前記北潟湖、九頭竜川など、県下に相当広く分布していることがわかった。

### b. 移殖と繁殖状況

北川への移殖の経路は不明な点が多いが、北潟湖からコイの稚魚を放流しており、それと一緒に放流された可能性が強い。稚魚も採集されたことから、そこで繁殖しているものと思われる。

以上、北川で採集されたイトモロコ、タイリクバラタナゴの2種について述べたが、これらは移殖魚と考えられた。なおこの他に、北川では移殖魚としてヒガイ *Sarcocheilichthys variegatus* やオイカワ *Zacco platypus* も採集された。なお、これまでに福井県では次の4科12種の移殖魚が採集されている（加藤、1980）。すなわち、アマゴ、ヒメマス、ニジマス（以上、サケ科）、ヒガイ、オイカワ、ハス、カネヒラ、タイリクバラタナゴ、ゲンゴロウブナ、ワタカ（以上、コイ科）、ギギ（ギギ科）、カムルチー（タイワンドジョウ科）である。したがって、今回の初記録である北川のイトモロコ（コイ科）を加えると、福井県で確認された移殖魚は全部で4科13種になる。

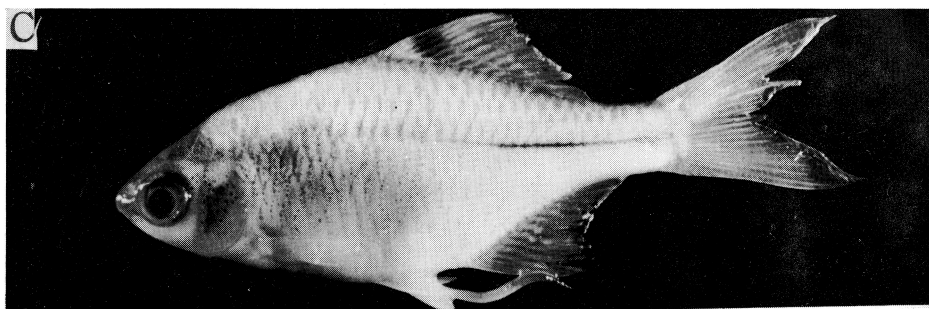
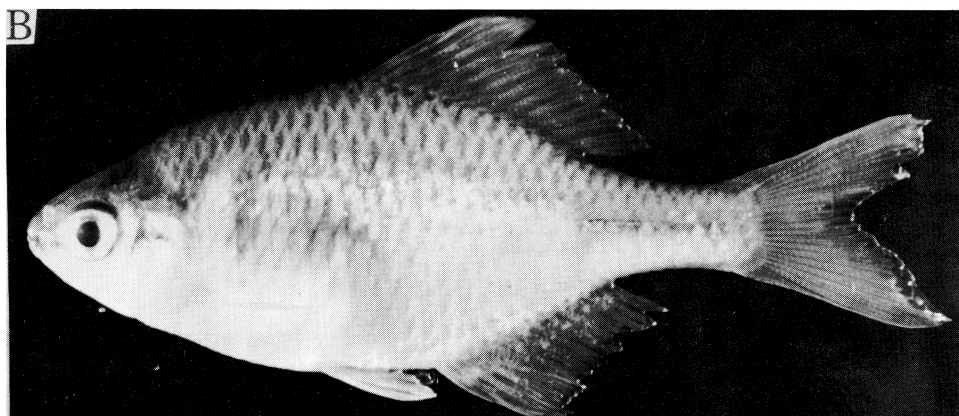
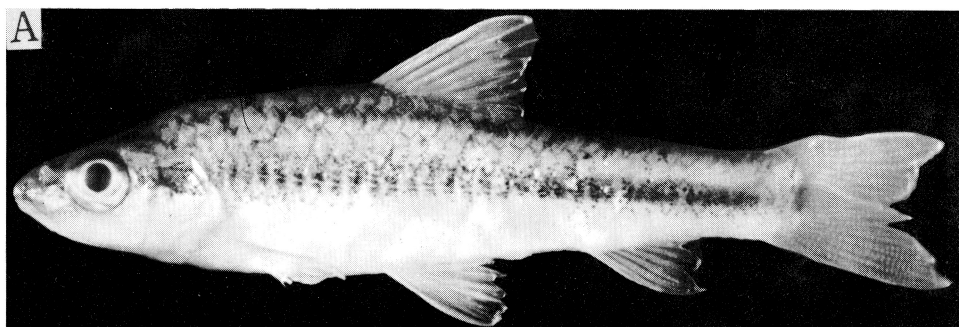


図2 北川で採集されたイトモロコとタイリクバラタナゴ

- A. イトモロコ *Squalidus gracilis*  
標準体長 52.5mm, 1974年9月14日採集
- B. タイリクバラタナゴ *Rhodeus ocellatus ocellatus*  
標準体長 39.0mm, ♂, 1979年8月22日採集
- C. 同 上  
標準体長 31.0mm, ♀, 1979年9月14日採集

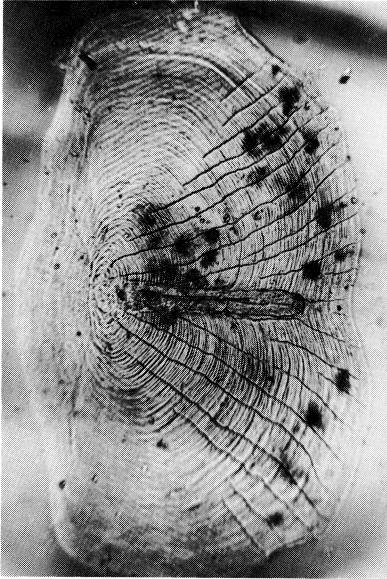


図3 イトモロコの側線鱗  
標準体長 50.0mm

#### 引用文献

- 加藤 文男；1978. 福井県に生息する移殖魚. 福井市立郷土自然科学博物館博物同好会会報, (25)：25～32, figs. 1～2.
- 加藤 文男；1980. 九頭竜川水系で採集された移殖魚. 武高評論, (11)：11～17, figs. 1～2.
- 宮地伝三郎・川那部浩哉・水野信彦；1976. 原色日本淡水魚類図鑑. 保育社.
- 中村 守純；1975. 原色淡水魚類検索図鑑. 北隆館.